



2025年5月14日

報道関係者各位

慶應義塾大学  
三菱ケミカル株式会社

## 来る未来社会の研究と人材育成の場を創出すべく

## 慶應義塾大学と三菱ケミカルが2025年4月に新たな寄附講座を開講

## ーテーマは「Society 5.0時代の新しい社会システムと科学技術」ー

慶應義塾大学（所在地：東京都港区三田、塾長：伊藤 公平）と三菱ケミカル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：筑本 学、以下、三菱ケミカル）は、慶應義塾大学大学院理工学研究科において「Society 5.0時代の新しい社会システムと科学技術」に関する寄附講座を2025年春学期より開講しました。本講座は、産学連携によって社会課題の解決に資する人材を育成することを目的とし、Society 5.0時代を支える先端科学技術と新たな社会システムを幅広く学ぶ機会を提供するものです。多様なステークホルダーが自由に議論し共創する場として、学術と産業界を融合した新たな教育モデルの確立を目指します。

## 1. 背景

慶應義塾大学では、超高齢社会など将来の課題に挑むため、2021年4月にグローバルリサーチインスティテュート（KGRI）において「2040独立自尊プロジェクト（2040PJ）」を立ち上げ、産学官の協働によるソリューション創出に取り組んできました。2040PJには、理工学研究科からも多くの研究者が参画し、Society 5.0社会に必要とされる新技術の開発や新たな社会システムの最先端研究を推進しています。

「Society 5.0」は、第5期科学技術基本計画（2016年策定）において、日本が目指す未来社会のコンセプトとして提唱されました。Society 5.0は、サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合し、AIやIoTなどの先端技術で経済発展と社会的課題の解決を両立させる人間中心の社会像です。Society 5.0の社会では、ユビキタスな情報環境の下、ロボットやセンサーが人々の生活を支え、高齢化や環境問題などの社会課題にも革新的なソリューションが期待されています。一方で、自動運転の安全性確保やAIの倫理、ビッグデータの管理といった、これまで人類が直面したことのない新たな課題への対応も求められており、Society 5.0の実現には最先端の技術開発に加えて、社会制度の整備や価値観の醸成に向けた産官学民の議論が不可欠です。

このような背景のもと、慶應義塾大学大学院理工学研究科では2040PJと連携して、「Society 5.0時代の新しい社会システムと科学技術」をテーマとした寄附講座を企画しました。最先端研究と大学院教育の“両輪”を回すことで、「新しい時代の研究と人材の創成の場」創出を目指すものです。この趣旨に賛同した三菱ケミカルが産学連携パートナーとして加わることで、本寄附講座の実現に至りました。

三菱ケミカルは、「革新的なソリューションで、人、社会、そして地球の心地よさが続いていくKAITEKIの実現をリードしていくこと」をPurposeに掲げ、化学の技術を活かしたイノベーション活動を通じて、複雑化する社会課題の解決ならびに持続可能性のある未来社会の

実現を目指しています。Society 5.0 の理念に通じるこの取り組みを推進すべく、三菱ケミカルは産学連携を含めたオープンイノベーションを重視し、組織や領域を超えた多様な視点を通じて、イノベーションの加速を図っています。

## 2. 講座の内容

「Society 5.0 時代の新しい社会システムと科学技術」講座では、Society 5.0 社会を支える多様な分野の最先端トピックについて、各分野の第一線で活躍する専門家による特別講義を行います。講義は全て対面形式で実施され、慶應義塾大学矢上キャンパスを会場に週 1 回のペースで開講します。講師陣には本学教員のみならず産業界や他大学・研究機関の有識者を招へいし、各回ごとに異なるテーマで最新動向と知見を共有します。各回の講義や開発現場を訪問する特別回を通じて、Society 5.0 を支える科学技術の原理や応用例の座学のみならず、新たな社会システムを実現する上での課題や展望についても議論します。理工学研究科において最大規模となる 240 名が履修登録し、4 月 10 日に行われた初回講座では、慶應義塾大学の加藤靖浩特任講師が Society5.0 に関する説明を行った後、三菱ケミカルから葛城俊哉 CTO(チーフテクノロジーオフィサー)と産学連携部長の清水史彦氏が登壇しました。慶應義塾大学と三菱ケミカルは、本講座を通じ、アカデミアの先端知識と産業界で培われた実践知を融合させることで、受講生にこれからの社会変革を牽引するための学びの場を提供します。この場から未来を先導する高度人材が育まれ、将来的には、社会課題の解決に資するイノベーションや社会共創へとつながることを目指しています。



### 【寄附講座概要】

講座名	Society5.0 時代の新しい社会システムと科学技術（三菱ケミカル寄附講座）
開講期間	2025 年度春学期 全 14 回＋特別回
開講場所	慶應義塾大学矢上キャンパス
担当教員	泰岡顕治（理工学部）満倉靖恵（理工学部）浅井誠（KGRI）
履修学生	慶應義塾大学大学院前期博士課程（修士課程）約 240 名

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、科学記者会、各社科学部等に送信させていただいております。

---

• 三菱ケミカル寄附講座についてのお問い合わせ先  
慶應義塾大学 理工学部 教授 泰岡顕治 (やすおか けんじ)  
TEL : 045-566-1523 E-mail : [yasuoka@keio.jp](mailto:yasuoka@keio.jp)

• 本リリースの配信元  
慶應義塾広報室(野口、増田)  
TEL : 03-5427-1541 FAX : 03-5441-7640 E-mail : [m-pr@adst.keio.ac.jp](mailto:m-pr@adst.keio.ac.jp)  
<https://www.keio.ac.jp/>

三菱ケミカル株式会社  
総務・広報本部 メディアリレーション部  
TEL : 03-6748-7140